

授業科目(ナンバリング)	環境デザイン論(CA301)			担当教員	張 美慶		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
美しい空間や街並みは、世界中の観光客を魅了している。観光客は、自然、気候、文化、歴史、食などに触れながら、これらの調和を大いに楽しんでいる。環境デザイン論では、こうした快適で豊かな持続的人間環境の構築をめざすデザインの基本的な考え方と方法論を理解できるようになることにねらいをおいている。世界の都市から身近な地域まで、様々なスケールで環境デザインの方法や手法について学んでもらいたい。							⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会人として必要な環境や景観に関する基礎的知識を有し、実践することができる。				・課題レポート	30%	
情報収集、分析力	さまざまな現代社会の「環境や景観問題」を「自然環境や社会環境」の情報収集を行うことで分析することができる。				・プレゼンテーション	70%	
コミュニケーション力						-	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
環境デザイン論の専門力について確認・定着のため、課題レポートの提出を求める。その結果に基づき、30%の評価を行う。また、講義で学んだ知識を踏まえ、情報収集、分析力について確認・評価をするため、グループでのプレゼンテーションを課し、その結果に基づき70%の評価を行う。なお、課題のフィードバックは授業中に適宜行う。							
授業の概要							
環境デザインには、都市や地域の自然、広場、公園、建物などの空間的な関係性を理解し、観光、文化、スポーツ、歴史等を含めた総合的なマネジメントやプロデュースができる能力が必要である。この授業では、環境、土木、エリアマネジメント、観光戦略の実務経験を持つ教員から、様々な法体系や環境デザインに必要な基本事項が、実際の都市空間にどのように結びつくのか実践的に学ぶことができる。特に、都市・まちづくりについての重要なキーワードや要素をおさえつつ、具体的な展開手法を説明する。また、国内外の各地域の環境デザインの事例を理解し、実践的なスキルを身につける。授業の終盤には、環境デザイン演習を実施し、表現方法を身につける。なお、フィードバックは授業やポートフォリオを通して適宜行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：都市景観の環境デザイン 石井一郎 森北出版株式会社 参考書：空間から読み解く 環境デザイン入門 菅野博貢 彰国社 日本の都市環境デザイン1 北海道・東北・関東編 建築資料研究社 日本の都市環境デザイン2 北陸・中部・関西編 建築資料研究社 日本の都市環境デザイン3 中国・四国・九州・沖縄編 建築資料研究社 環境デザインの方法 仙田満 彰国社 指定図書：アレックス・カー著『犬と鬼』／講談社学術文庫							

授業外における学修及び学生に期待すること			
何気無い日常生活を通して環境デザインを常に意識してもらいたい。日常の景色の中に空間創造について様々な気付きがあるはずである。			
回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	授業ガイダンス	授業計画と成績評価の方法及び環境デザイン論の概略を理解する。	予習：シラバスを読んでくる。
2	ポスト近代の都市・まちづくり	環境デザインの概念について説明し、これからの環境デザインのあり方などを講義する。	復習：当日の内容を振り返る
3	環境デザインの概念	環境デザインの概念について歴史を通して説明し、これからの環境デザインのあり方などを講義する。	復習：当日の内容を振り返る
4	都市・ランドスケープ	日本と海外における都市の人々が織りなした歴史と土地のインフラの材料を取り上げる。また植栽、建築、美術など全体を含めたランドスケープの講義をする。	復習：当日の内容を振り返る
5	法律の体系	日本における各種法律の説明を講義する。自然公園法、都市計画法、建築基準法、地域条例、ハートビルド法、省エネルギー法、道路交通法などの概略を講義する。	復習：当日の内容を振り返る
6	環境デザインの潮流	世界における、新しい潮流として環境デザインによる施設群の紹介を行い、そこに流れる環境への取り組みを考える。土地の自然環境に沿った、施設づくりがあり、その結果としてのデザインや景観のあり方を解説する。	復習：当日の内容を振り返る
7	エネルギー	新エネルギー（太陽、風、地熱など）、エネルギーから見た環境デザインを考える。また、それによってできる地域デザインの理由を講義する。	復習：当日の内容を振り返る
8	環境デザインの事例紹介①	環境デザインの観点で地方政策を考える（事例1）	復習：他の事例を自分で確認する。
9	環境デザインの事例紹介②	環境デザインの観点で地方政策を考える（事例2）	復習：他の事例を自分で確認する。
10	環境デザインの事例紹介③	環境デザインの観点で地方政策を考える（事例3）	復習：他の事例を自分で確認する。
11	現地フィールドワーク①	グループ単位でフィールドワークを実施する。	復習：ワークシートの整理。
12	現地フィールドワーク②	グループ単位でフィールドワークを実施する。	復習：ワークシートの整理。
13	ワーキング	グループ単位でワーキングを行う。	復習：ワークシートの整理。
14	プレゼンテーション①	環境デザインのプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーションの準備
15	プレゼンテーション②	環境デザインのプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーションの準備